

西大和つうしん

2024年1・2月号
No.477



大文字山より京都市街を望む《2023.12.3》

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第477号（2024年1・2号）

【目次】

1 月度山行計画.....				2
2 月度山行計画.....				3
1・2月度カレンダー.....				4
山行・行事等参加メモ.....				5
山行報告				
・例会山行2 《10/29》	台高山脈	西大台ヶ原（野路）.....		6
・例会山行1 《11/5》	金剛山地	金剛山（岩崎）.....		7
・例会山行2 《11/12》	矢田丘陵	県連搬出技術訓練（島崎・岡嶋吉）.....		8
・例会山行2 《11/26》	六甲山地	六甲山～有馬温泉（佐々木）.....		9
・例会山行1 《12/3》	京都東山	大文字山（前田）.....		9
・例会山行2 《12/10》	鈴鹿山脈	観音山～筆捨山～羽黒山（佐伯）.....		10

1 月 度 山 行 計 画

～新年のプチ登山！～

頂上でプチ宴会をします

新春山行（例会山行 1） 六甲山地 《甲山 309.2m》

【日 程】 1月7日（日） （L永井）

※ 参加者はリーダーまで申込み（12月24日締切り）

【集 合】 JR王寺駅 8:20（阪急仁川駅 9:45）

【交 通】 JR王寺(8:31)～大阪(9:08)/阪急梅田(9:20)～西宮北口(9:32/38)～仁川(9:43)

【コース】 阪急仁川駅～(50)～甲山森林公園～(40)～甲山～(15)～神呪寺～(40)～
阪急甲陽園駅

※ 歩行距離：約 5.3 km

鈴鹿セブンマウンテンの山

～白銀の世界を期待して！！～

例会山行 2 鈴鹿山脈 《竜ヶ岳 1,099m》

【日 程】 1月14日（日） （L野路）

※ 参加者はリーダーまで申込み（1月3日締切り）

【集 合】 上牧町役場前駐車場 6:00

【コース】 宇賀溪キャンプ駐車場～遠足尾根登山口～遠足尾根・大鉢山分岐～
治田峠分岐～竜ヶ岳～金山尾根～魚止滝～宇賀溪キャンプ駐車場

※ 積雪が多い時、金山尾根コースピストンとします

※ 歩行時間：約 6 時間（無雪期の休憩時間を含まない時間）

※ 歩行距離：10 km

～素晴らしい樹氷の眺めを再び！！～

例会山行 2 鈴鹿山脈 《綿向山 1,110m》

【日 程】 1月21日（日） （L亀高）

※ 参加者はリーダーまで申込み（1月7日締切り）

【集 合】 上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】 御幸橋駐車場～ヒミズ谷出合小屋～五合目小屋～綿向山～（冬季限定ルート）
～五合目小屋～ヒミズ谷出合小屋～御幸橋駐車場

※ 歩行時間：登り 3 時間 30 分、下り 2 時間（休憩・昼食時間含む）

2 月 度 山 行 計 画

～氷瀑を見に行きましょう！！～
モミジ谷ルート of 氷瀑と、名物「ドラゴン」を見て山頂を目指します

例会山行1 金剛山地 《金剛山 1,125m》

- 【日 程】 2月4日（日） （L 橋本）
※ 参加者はリーダーまで申込み（1月28日締切り）
【集 合】 上牧町役場前駐車場 7:00
【コース】 往路：登山口～モミジ谷コース～第6堰堤～本流ルート分岐～金剛山山頂
復路：ダイトレ道～一ノ鳥居～郵便道分岐～旧パノラマ～カヤンボ～登山口
※ 歩行時間：約5時間（積雪の有無により多少変わります）
※ 歩行距離：約10km

～ブナ林の輝く霧氷を見に行きましょう！！～

例会山行2 台高山脈 《高見山 1,248.4m》

- 【日 程】 2月18日（日） （L 杉森）
※ 参加者はリーダーまで申込み（2月4日締切り）
【集 合】 近鉄榛原駅 奈良交通直通バス「霧氷号」停留所前 8:15 発のバス乗車
【交 通】 近鉄新王寺 7:04⇒7:25 西田原本/田原本 7:31⇒7:36 大和八木 7:45⇒
8:00 榛原
往路：榛原駅 8:15⇒8:53 杉谷登山口
復路：たかすみ温泉前 16:00⇒16:43 榛原駅
【コース】 杉谷登山口～小峠～大峠～高見山～国見岩～杉谷・平野分岐～高見杉～
平野登山口
※ 歩行時間：約6時間（休憩含まず）

～雪を踏みしめて琵琶湖の雄大な眺めを！！～

例会山行2 比良山地 《堂満岳 1,053m》

- 【日 程】 2月25日（日） （L 藤井）
※ 参加者はリーダーまで申込み（2月11日締切り）
【集 合】 JR 王寺駅 6:50（7:01 の大阪駅に乗車）または JR 比良駅 9:00
【交 通】 王寺 7:01⇒7:39 大阪 7:45⇒8:14 京都 8:18⇒8:58 比良
【コース】 比良駅～イン谷口～大山口～金糞峠～堂満岳～ノタノホリ～イン谷口～
比良駅
※ 歩行時間：約6時間（無雪期・休憩含まず）

西大和山の会 カレンダー

1月		2月	
1	月	1	木
2	火	2	金
3	水	3	土
4	木	4	日
5	金	5	月
6	土	6	火
7	日	7	水
8	月	8	木
9	火	9	金
10	水	10	土
11	木	11	日
12	金	12	月
13	土	13	火
14	日	14	水
15	月	15	木
16	火	16	金
17	水	17	土
18	木	18	日
19	金	19	月
20	土	20	火
21	日	21	水
22	月	22	木
23	火	23	金
24	水	24	土
25	木	25	日
26	金	26	月
27	土	27	火
28	日	28	水
29	月	29	木
30	火		
31	水		

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)		1/7 例会1	1/14 例会2	1/21 例会2	2/4 例会1	2/18 例会2	2/25 例会2
			甲山	竜ヶ岳	綿向山	金剛山	高見山	堂満岳
1	都築							
2	藤井							LO
3	島崎							
4	村田							
5	勝尾							
6	杉村							
7	橋本					LO		
8	亀高				LO			
9	野路			LO				
10	杉森英二						LO	
11	上田							
12	永井		LO					
13	岩田							
14	佐々木							
15	玉野							
16	前田							
17	岩崎							
18	岡嶋吉男							
19	岡嶋八重子							
20	中尾							
21	大島正二							
22	大島美子							
23	杉森純子							
24	佐伯							
25	中野							
26	鈴木							
合 計								
緊急連絡先								
HP 編集者			永井	橋本	亀高	橋本	永井	亀高

L:リーダー、○:参加、◎:車

※山行参加の回答は、リーダーに山行2週間前までにお知らせください。

※HPの会員の広場に掲載している「山行リーダーのための例会山行までの流れ」を参照して下さい。

山行報告

例会山行2（県連交流山行） 台高山脈 **西大台ヶ原**

【日 程】10月29日（日）曇り

【参加者】L 永井・島崎・橋本・野路・岩田・佐々木・玉野・岩崎（8名）
（他会14名）

【コースタイム】 榑原神宮前(7:30)⇒大台ヶ原 P(9:35)～センターセミナー(10:05)～登山口(10:10)～
ナゴヤ谷(10:45)～中ノ谷(11:40)～開拓跡(12:45/13:20)～タタラカ水(14:25)～大台
ヶ原ビジターセンター(15:35)

県連主催の交流山行に当会からは8名が参加。2班に分かれて、ガイド2名の方の案内で西大台を歩く。森林植生の衰退が進んでいる大台ヶ原の中で、「西大台」は静寂で原生的な雰囲気を残している。この西大台の美しい自然環境を守り、将来にわたり静寂で豊かな自然を守るために、平成18年12月に「利用調整地区」に日本で初めて指定された。一日70名までとなっている。

西大台に入るためのセミナーを受け、ナンバーと名前の書かれた名札をつけて入山。登山口から少し進んだところに監視員がいて、1グループ10名までとされ、3班



に分かれて、ナンバーと名前の確認をしてから入る許可がでる。このような監視員のいるところが3か所あった。緩やかな下りをナゴヤ谷まで下るとあとは優しいコースなる。何度か徒渉もあり、開拓跡に到着。ここにはトイレブースと簡易トイレが設置されている。（簡易トイレと使用料で500円）昼食をとり、ここからは、標高差300mの登りかえしになる。

まだ紅葉も残っており、ガイドの方から大台ヶ原の歴史を教えて頂き、いつもとは違った山歩きを楽しむことが出来た。

「大台ヶ原の歴史」主な事柄のみ

- 明治2年(1869)京都宇治 興聖寺(こうしょうじ・曹洞宗)が開拓のため入山。
1年余りで失敗に終わる
- 明治7年(1874)修験道の行者 林実利(じつかが)が入山して修行。
- 明治18年(1885)松浦武四郎。探検家。3年に渡り大台ヶ原に登る。
本人の遺言により分骨碑が建てられている。江戸幕府から蝦夷開拓御用掛に抜擢される。「東西蝦夷山川地理取調図」を出版。北海道の名付親
- 明治24年(1893)古川嵩(かさむ)入山修行。大台協会建設。大台ヶ原開山の父と言われている。神武天皇像も推進。松浦武四郎の碑も推進。
大台ヶ原と河合間に有線電話開設(大正14年)。その時の電線のガイシが今も残っている。

- 大正 6 年(1917)四日市製紙が森林伐採に着手。檜など皆伐に近い状態に伐採。
- 昭和 40 年(1965)本州製紙が森林伐採計画を具体化する。
- 昭和 44 年(1969)大台ヶ原の自然を守る会発足
- 昭和 49 年(1974)奈良県が大台ヶ原現生地地区 671.55ha を本州製紙から買収。
- 昭和 55 年(1980)大台ヶ原・大峰山が「ユネスコエコパーク」に登録
- 平成 18 年(2006)西大台利用地要請地区に指定。

(記：野路政子)

例会山行 1 金剛山地 **金剛山** 1,125m

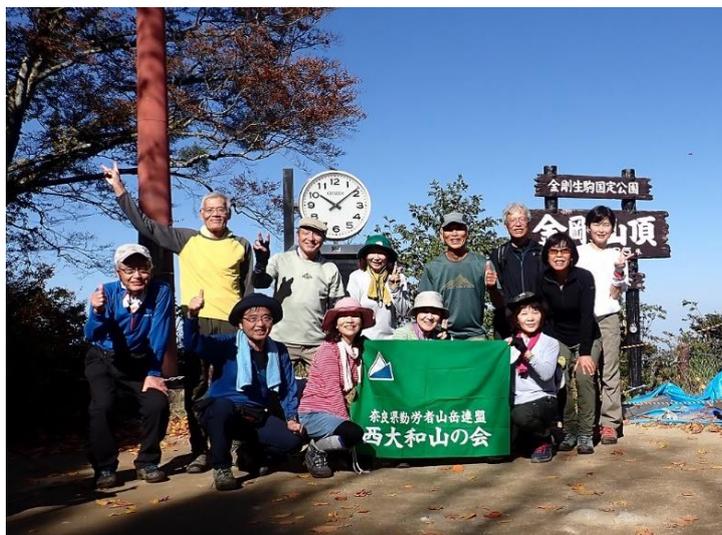
【日 程】 11月5 (日) 晴れ

【参加者】 L 杉森英・SL 島崎・亀高・野路・永井・佐々木・玉野・岩崎・岡嶋吉・岡嶋八・
一般参加 2 名 (計 12 名)

【コース】 水越峠(7:56)～金剛水(8:25)～カヤンボ(8:37)～《もみじ谷コース》～金剛山
(10:05/40 昼食)～分岐(11:05)～《サネ尾根コース》～カヤンボ(11:50)～金剛水
(11:55)～水越峠(12:26)

水越峠入り口で一般参加 2 名の方を紹介し、今回はもみじ谷コースから登り、下りはサネ尾根コースを下るルートです。とても天気が良く季節外れの暑さでしたが沢浴いを歩くコースで暑さを軽減してくれます。紅葉が見頃で、青空と紅葉の木々のコントラストがとても素敵でした。早めの昼食は金剛山の広場で頂きみんなの会話が弾みます。

下山はサネ尾根コースを激下り。皆さん慎重に下り、無事早めの帰路に着きました。O 夫妻の畑で収穫した茹でピーナッツ御馳走様です。
(記：岩崎美都里)



例会山行2 矢田丘陵 県連搬出技術訓練

【日程】11月12日(日)曇り

【参加者】L都築・島崎・杉森英・永井・岡嶋吉・佐伯(6名)(全体33名)

【コース】多目的広場(9:00/15)～矢田山遊びの森子供交流会館(10:15)～応急手当講習及び訓練(11:45)～昼食(11:45/12:15)～搬出訓練(12:25～14:20)

多目的広場に集合して、1時間程歩いて子供交流会館へ。まずは応急手当の講習及び実地訓練をする。三角巾を使用して、膝・太腿・足首等を固定する方法を学ぶ。たまにしかやらないので、初めて体験するような感じである。昼食タイム後は搬出訓練ではあるが、Tさんが体調不良の為、岡嶋さんを除いて早退することになった。



午後からは搬出訓練で1人・2人の場合、ザックを利用して、ストック・シートを利用しての搬出方法を学びました。

怪我等すると、いかに搬出するのが大変かを改めて実感するとともに、周りにも迷惑がかり、山行中特に下りでの事故が多いことから、やはり個人個人が気を引き締めて事故を起こさない事が肝要かと思います。

(記：島崎隆)

①負傷者の搬出訓練

・1人しかいない場合の搬出訓練

意識なしで倒れている人の向きを変える、引きずって運ぶ、背負って運ぶなど
足首捻挫(意識あり)の人に肩をかして一緒に歩行する

・2人いた場合の搬出方法

②スリングを使っでの訓練

・負傷者を負ぶる

③簡易担架を作っでの負傷者搬出訓練

・ポールとレジャーシートやツェルトを使って簡易担架をつくる

・ザックを連結して担架をつくる

④スリングの使い方(簡易ハーネス)、ロープの結び方

(記：岡嶋吉男)

例会山行2 六甲山地 **六甲山** 931.3m～有馬温泉

【日 程】11月26日(日) 晴れ

【参加者】L 岩田・SL 島崎・野路・杉森英・佐々木・岩崎・中尾・中野(8名)

【コースタイム】JR 甲南山手駅(8:26)～風吹岩(9:56)～雨ヶ峠(11:06)～一軒茶屋(12:18)～六甲越(12:20/53)～六甲山頂上(12:58)～有馬稻荷神社(14:20)～有馬温泉(14:45)

JR で芦屋まで行き、六甲山へと向かう。最初は住宅街の坂道を歩く。山道では階段が多く、急な登り坂が続いたかと思うと何故か下りが続いたりする。その繰り返しで六甲越までは結構長い道のりだった。休憩の時などに見える眺めはお天気が良かったせいか神戸市街地やポートアイランドまで望めた。又、小春日和に恵まれ紅葉もあちらこちらで観る事ができ、赤や黄色が鮮やかで十分に楽しめた。



頂上近くの六甲越でお昼休憩となったが、感じの良い休憩所で綺麗なトイレが併設されていて有り難かった。その後、直ぐそこの六甲山頂上に行き絶景を楽しんだ。下りはなんと超特急で、登りに4時間もかけたはずだったが約1時間半で有馬まで降りてしまった。

その後も有馬の数ある温泉街のお店を横目で見ながら、本当にロス無く帰り着き、なんと5時前に王寺に着いた。その為か、距離12キロ、28000歩と歩いた割にはさほど疲れは無かった。
(記：佐々木喜代美)

例会山行1 京都東山 **大文字山** 466m

【日 程】12月3日(日) 晴れ

【参加者】L 上田・SL 藤井・亀高・杉森・岩田・佐々木・玉野・前田・岩崎・大島正・佐伯・中野・一般参加1名(計13名)

【コースタイム】JR 山科駅(9:30)～毘沙門堂(10:05)～登山口(10:13)～大文字山(11:20/12:00)～大文字火床(12:18)～銀閣寺(13:10)～永観堂(13:54)～新島襄・八重の墓(14:24)～南禅寺(14:45)～蹴上駅(15:00)

JR 山科駅を出発し、桜の木がアスファルトをめぐりあげている風情のある古い町並みの路地を抜けて、紅葉で赤く染まった毘沙門堂に着く。毘沙門堂からしばらく舗装道を歩き、道筋の芸術家が作成したオブジェを眺めながら、登山口の安祥寺上寺後の道しるべから山道となる。登山口からは尾根道の急騰が続き、京都市街が一望できる大文字山頂に至る。

山頂でゆっくり昼食をとり、なだらかな道を大文字の火床に到着すると、眼下に市街を一望する大パノラマは見事であった。火床で赤ちゃんを負った美女に集合写真をお願いして、記念撮影。火床から紅葉に染まった歩きやすい道を銀閣寺に向かい、哲学の道に出る。哲学の道から永観堂の間は、たくさんの観光客と共に、それぞれに土産物を買ったりしながら素晴らしい紅葉を楽しむことができた。永観堂から再度東側の山道に入り新島襄・八重の墓を経由して疎水のインクラインに出て、南禅寺の傍を紅葉を眺めながら、蹴上駅で解散した。

今回の山行は、京都市街を鳥瞰しながらのんびりと紅葉を楽しむことが出来、楽しい山行であった。
(記：前田昌信)



例会山行2 鈴鹿山脈 観音山～筆捨山～羽黒山

224m 285m 290m

【日 程】 12月10日(日) 晴れ

【参加者】 L 島崎・SL 藤井・橋本・杉森英・佐々木・玉野・岩崎・佐伯・鈴木 (9名)

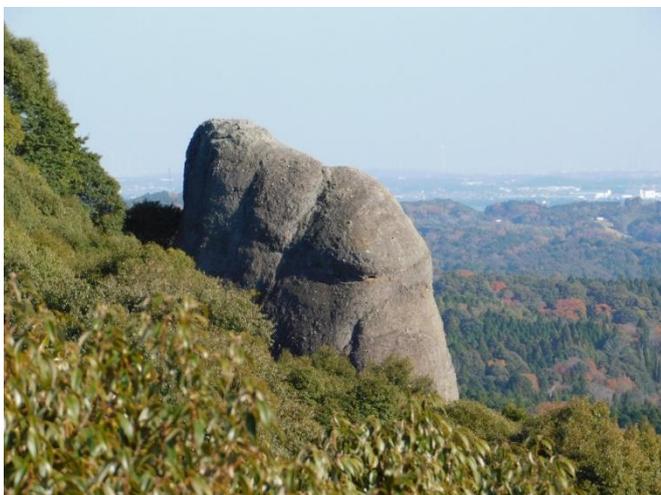
【コース】 関ロジ付近登山口(8:26)～観音山(8:45)～展望台(9:17)～筆捨山(10:11)～羽黒山分岐(10:42)～巨岩(11:15)～羽黒山(11:35/12:07)～関富士(13:19)～関ロジ付近登山口(13:50)

12月とは思えない暖かい日(最高温度 19℃)で、汗を沢山かきましたが、風がとても心地よく感じられた山行でした。

関ロジ付近登山口より、沢山の石仏を巡りながら、石や木の階段を上り観音山へ。頂上からの眺望は望めませんでした。途中では落葉した木々の間からまだ紅葉の残る周囲の山々を望むことが出来ました。次は、奇岩怪石の多い筆捨山へ。アップダウンを繰り返しながら、柔らかく広くて歩きやすい東海自然歩道を進みました。山頂近くは急登で、樹林に囲まれ展望はありませんでした。筆捨山山頂から分岐に戻り、羽黒山へと向かいました。林立する沢山の巨岩に目を奪われながら登りました。特に大岩の間は大変狭かったため、ザックを下ろし慎重に進みました。山頂は眺望が素晴らしく、鈴鹿の山々を望みながら、ランチを楽しみました。来

られている人もなく、ゆったり出来ました。その後、いったん車道まで下り、中腹から関富士を目指しました。急登の先の山頂では展望はありませんでした。要注意箇所が数ヶ所あり、低山の怖さを感じました。

4山とも300mに満たない山々ですが、起伏と変化に富み、厳しいでしたが大変歩きごたえのある楽しいコースでした。また、山は標高で計るものではないことを改めて感じさせてくれたコースでもありました。
(記：佐伯博子)



西大和つうしん

第 477号 (2024年1・2月号)

2023年12月23日発行

発行責任者 永井章夫

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>